

日本地学教育学会 2022年度 第2回 常務委員会 議事録

日 時：2022年11月21日（月）18時00分～20時20分

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者：川村教一，伊藤 孝，松本一郎，伊藤信成，上栗伸一，小関純一，澤口 隆，高橋 修，内記昭彦，中林俊明，西浦慎悟，林 慶一，平田豊誠，廣木義久，藤原 靖，南島正重，宮下 治，吉本直弘，米澤正弘（計19名）

議 題：

1. 前回（2022年度第1回）議事録の確認

2. 『地学教育』第74巻第2号掲載論文のページ番号の誤記について（西浦）

『地学教育』第74巻第2号掲載論文のページ番号の誤記があった問題について，国際文献社において修正版の冊子体を作成し，第74巻第3・4号に同封して発送された。

3. 『地学教育』の編集について（吉本・上栗）

地学教育編集委員会の業務負担の軽減方法について検討した。編集に係る業務について，編集委員が担当する業務と編集委員以外でも担当できる業務の整理を行う。

4. J-STAGEについて（吉本）

J-STAGEにおける『地学教育』掲載論文の認証のあり方について検討した。J-STAGEの利用について会員にアンケートをとる方向で，質問項目の検討を行う。

5. 『地学教育』国際会議特集号について（川村）

川村教一会長より，特集号編集委員会や出版スケジュールについて提案がされた。論文原稿は英文とすることを決めた。原稿種別や査読者の人数，論文のページ数について検討した。本委員会での議論を踏まえて，特集号編集委員会で引き続き検討をすることとした。

6. 2021年度優秀論文賞・若手学術賞審査委員会について（上栗）

上栗常務委員より審査委員会委員長に境 智洋会員（北海道教育大学），審査委員に高橋浩規会員（習志野市立習志野高等学校），西浦慎悟会員（東京学芸大学），戸倉則正会員（地学教育編集委員会・元愛知教育大学）を選出したことが報告された。また，2023年3月末を期限として審査を進めることが報告され，ともに承認された。

7. 大会におけるジュニアセッション優秀賞および若手優秀発表賞の制度化について（吉本）

規約案についてメール会議で引き続き検討することとした。

8. 会勢および会計について（中林）

入会者はなし，退会者は正会員が 3 名，購読有料会員が 2 機関であった。また，会費納入の催促メールを送った退会処分予定者 18 名のうち 16 名については，返信がないため退会処分とした。

*正会員 413，購読有料会員 22，購読無料会員 23，学生 6，在外 0，シニア会員 71，名誉 3：合計 538。

『地学教育』掲載論文の超過ページ料金および別刷料金の請求，入金状況について報告された。

9. その他

伊藤 孝副会長より支部企画について提案があり，メール会議で検討することとした。

報告：

1. 熊本巡検について（川村）

第二次案内について報告された。

2. 各種委員会報告

1) 地学教育編集委員会（上栗）

『地学教育』第 75 巻第 1 号および第 2 号が J-STAGE 上で公開された。第 75 巻第 3 号に 3 編の論文が掲載される予定である。

2) みんなの地学編集委員会（廣木）

『みんなの地学』第 3 号の無料配布分の残り約 200 冊について，配布先を廣木義久委員長に連絡すれば発送する。

3) 広報委員会（宮下）

全国中学校理科教育研究会三重大会に本学会のパンフレットを 450 部送付した。同様に，全国小学校理科研究協議会研究会香川大会に 200 部，全国小学校理科研究協議会研究会関東ブロック大会群馬大会に 500 部を送付し，参加者に配布していただいた。

3. その他

第 3 回常務委員会は 2023 年 1 月 24 日に開催する。